土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川　矢野川水系　花上上川　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

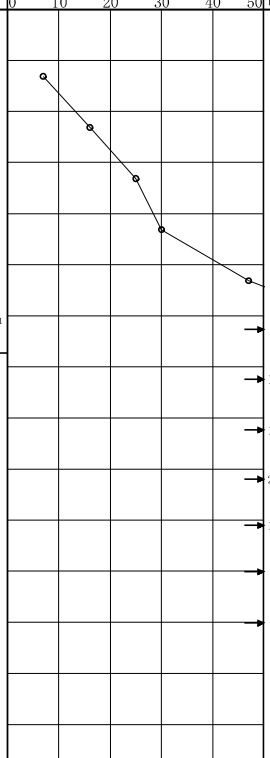
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	R4_Bor.No.4(花上上川)	**調査位置**	広島県広島市安芸区矢野東四丁目外			**北緯**	34° 21′ 17.5″
発注機関	広島県西部建設事務所　災害関連緊急対策チーム			**調査期間**	2022年　8月 29日 ～ 2022年　8月 31日	**東経**	132° 32′ 44.1″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 102.86m	**角度**	180°, 上下, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 270° 西, 90° 東, 180° 南	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°34.3°
総削孔長	12.00m					**使用機種**	**試錐機**: 東邦D1-B
							エンジン: ヤンマーNFD-12　**ポンプ**: 東邦 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	102.06	0.80		シルト混じり砂		褐	rd1			GL-0.0～0.2m間、シルト質砂の表土。φ2mm程度の細礫、木根を混入する粗粒砂主体の砂。	
1 2 3	99.06	3.80		花崗岩		褐～褐灰				DL級岩盤。花崗岩の強風化部で、手で揉むと砂状となる。深度が増すにつれ岩芯は固くなるが、全体的にマサ状の細礫混じり砂。所々、木根を混入する。	
4 5	97.61	5.25		花崗岩		褐～褐灰				DM級岩盤。所々に木根を混入する。花崗岩の強風化部で、上位と外観は概ね同様であるが、礫状コアが多く、また深度が増すにつれ岩片はやや硬質となる。	
6 7 8	93.86	9.00		花崗岩		褐灰～淡褐灰				DH級岩盤。全体的に風化作用を受け、コア表面は粗く、長石類は白濁し軟質となり、ハンマー低打でボロボロに砕ける。割れ目などは、不明瞭。	08/31 6.73
9 10	91.86	11.00		花崗岩		淡褐灰				DH～CL級岩盤。上位よりやや風化作用は弱いものの、全体的にコア表面は粗く、ハンマー低打でボロボロに砕けるが、一部礫で残る。部分的に小礫の硬質部や、割れ目が確認できるようになる。	
11 12	90.86	12.00		花崗岩		淡灰褐				CL～CM級岩盤。部分的にCM級を挟在（GL-11.15～11.45m）。コア長10cm前後の柱状コアで主体で、コア表面は滑らかで岩芯は硬質。ただし、低角度の割れ目沿いに風化作用を受け軟質となる部分あり。	
13 14											

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
16	2.15	4	5	7	16/300		
25	3.15	8	8	9	25/300		
30	4.15	10	10	10	30/300		
47	5.15	10	17	20	47/300		
71	6.15	21	25	4/10	50/210	210	
100	7.15	28	22/50		50/150	150	
107	8.15	27	23/40		50/140	140	
214	9.15	50/70			50/70	70	
188	10.05	50/80			50/80	80	
	11.00	50/0			50/0		
	12.00	50/0			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					8/29
					8/30